
Sは素直じゃないのS

月遶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Sは素直じゃないのS

【Nコード】

N2059D

【作者名】

月遶

【あらすじ】

Sな彼女って駄目ですか？SはSでも……違うS。今日も彼女はS全開なのでした。

私の感情は全て、Sな事で表される。

私と彼は今月、付き合ってから五ヶ月を向かえる恋人同士。

彼、久崎光駕クザキコウガと私、沢原唯月サワハライツキは同じ、バスケット部の部員で………やっぱり出会いは部活。

入部した当時は、お互い様……全く意識して無かった。でも、いつ頃からか私はあの笑顔に惹かれていた。彼の気持ちがある頃、どうだったかは知らないけど。

そして、その彼は今、私の隣で部室の片付け中。

そんなにモテル彼では無いけれど………いや、全然モテル事は確実に無い。見た目が少し太り気味なのがモテない原因………。

ううん……、別に私は顔で人間は選んでないけど……。彼の為にも……瘦せた方が良いと思う現実……。

頑張れ 光駕。

一応、心の中でエールを送る私。

そして、ここから一見、らぶらぶな馬鹿ツプル？は、凄い事を仕出すのでした。

「 光駕、言っても良いかなあ？」

少々、脅し口調で問い掛ける私に光駕は、部室の片付けを中断させてこちらを向く。

「痩せる」

「……………はい」

しょんぼりする光鷲。

私はこれをもつと虐めなくなる。「……………別に、私は貴方で良いけどさ。でもね、私にだって望みがあるの。しかも、大人になってそんなんじゃ、子供に馬鹿にされるわよ」

誰も居ない部室のな中。

二人だけの部室に私の声が響く。「……………うう、仕方ないなあ……………頑張ってみるけどさあ……………んじゃあ、そのかわり……………」

部室の隅で私を押し倒す光鷲。

……………要はやりたいって訳？

「……………あんたにしては、珍しい事。やっと、男っぽくなった？」

私は冷静に言ってみる。

正直、私の方が彼より……………エロいと思うけど。

外見的に彼はそういうのに全く、面識は無く。

「普通に毎日、やりたかったけど？」

「あ、そう」

……………ん？

待てよ？

思えば、五ヶ月付き合ってるのにキスもえっちもやって無かった？

……………ふーん……………、そうかそうか。これが初めてだったら……………面白いじゃん。

「……………初めてなんでしょ？光鷲。……………覚悟は出来てる？」

「うん」

笑顔で答える彼。

つか、私が覚悟する方でしょうが。

「……………じゃあ、どうぞ」

もう、どっちが攻めるんだか……………。彼は、一先ず私の唇にキスを落とした。

……………あれっ？

なんか、上手い？

長い長い、愛の時間は終わり、私はぐったり状態で彼に抱きしめられていた。

「……………はあ、……………あ……………」

「……………可愛かったよ、唯月」

彼はそう言っただけで、私の唇にキスした。

もう、私の脳内は破滅状態……………。

意外に上手かった事に唖然としながら、私は彼の 耳元で呟いた。

「……………大好きだから浮気したらぶつ殺すから」

今日も明日も明後日も、素直じゃない私なのでした。

Sは素直じゃないのS。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2059d/>

Sは素直じゃないのS

2010年10月22日12時24分発行